

かしま 議会だより

第106号

令和3年6月議会号

令和3年7月発行

発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会
〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



東京オリンピック聖火リレー（5月9日・祐徳稲荷神社前）

定例会	P2～P3
議案審議	P4～P5
一般質問（9名）	P6～P10
議長・副議長あいさつ	P11
各委員会紹介（常任委員会・特別委員会）	P12～P13
全国市議会議長会表彰	P13
議会あれこれ・編集後記	P14



鹿島市のホームページもご覧ください。

鹿島市議会

検索

- 5日 休会
- 6日 休会
- 7日 休会(議案研究)
・ 発言内容通告締切
- 8日 休会(議案研究)
- 9日 休会(議案研究)
- 10日 議案審議
- 11日 休会(議案整理)
・ 質疑、討論、採決
- 12日 休会
- 13日 休会
- 14日 休会(議案整理)
- 15日 休会(議案整理)
- 16日 一般質問(3名)
- 17日 一般質問(3名)
- 18日 一般質問(3名)
- 19日 休会
- 20日 休会
- 21日 休会(議案整理)
- 22日 休会(議案整理)
- 23日 議案審議
・ 質疑、討論、採決

- 鹿島市議会
令和3年5月臨時会 会期日程
- 1、会期
自 令和3年5月7日
至 令和3年5月10日
- 2、日程
- 7日 開会
・ 会議録署名議員の指名
・ 会期の決定
・ 常任委員の選任
・ 議会運営委員の選任
- 8日 休会
- 9日 休会
- 10日 議案の一括上程
(市長の提案理由説明)
・ 議案審議
・ 閉会
- 鹿島市議会
令和3年6月定例会 会期日程
- 1、会期
自 令和3年6月4日
至 令和3年6月23日
- 2、日程
- 4日 開会
・ 会議録署名議員の指名
・ 会期の決定
・ 議案の一括上程
(市長の提案理由説明)

次のことを審議し決定しました

【5月臨時会】

	中村日出代	池田廣志	杉原元博	樋口作二	中村和典	中村一堯	稲富雅和	勝屋弘貞	伊東茂	松尾勝利	徳村博紀	福井正	松尾征子	松田義太	角田一美	採決結果	
議案第23号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	承認
議案第24号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	承認
議案第25号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第26号	退	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	議長	賛成多数	可決
議案第27号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席 ※…(監査委員のため審議に参加できない)

【6月定例会】

	中村日出代	池田廣志	杉原元博	樋口作二	中村和典	中村一堯	稲富雅和	勝屋弘貞	伊東茂	松尾勝利	徳村博紀	福井正	松尾征子	松田義太	角田一美	採決結果	
議案第28号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第29号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第30号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第31号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席 ※…(監査委員のため審議に参加できない)

議案審議

報告第2号

令和2年度鹿島市一般会計繰越明許費繰越計算書について



伊東 茂 議員

質問 令和2年度からの一般会計繰越事業が32件、総額15億2500万円計上されている。これほどまでの件数と多額の繰越

明許費は近年まれである。昨年7月豪雨の災害復旧に加え農業関係の基盤整備、道路工事などの工期の遅れも心配である。繰越の要因と今後の事業の進め方を問う。

新規コロナ対策が6件、災害復旧が4件など年度内の事業完了が出来なかった。令和3年度事業に影響を及ぼすことがないように発注等を進めており、早期事業完了を目指す。

議案第30号

令和3年度鹿島市一般会計補正予算(第3号)について



中村 日出代 議員

■農政事業費について
質問 農政事業費の内容について。

答弁 放牧をされる企業

の進出に補助金を考えている。遊休農地の解消・活用と担い手雇用の創出のために。
質問 市条例の何条で補助金を出すのか。
答弁 鹿島市補助金交付規則に則り事項を定めている。

路の維持管理、水利施設の利用維持管理、家畜排せつ物の適正な管理とある。企業が人、費用を出すのか。
答弁 企業と地域で取り決める。
意見 協定書は、地域住民の立場を考慮して作ってもらいたい。

議案第30号

令和3年度鹿島市一般会計補正予算(第3号)について



中村 一堯 議員

■七開地区の地域振興と企業進出

質問 今年5月末に七開地区の水道施設に落雷があり、畜産施設や住宅へ水道提供ができなくなる

事態が発生した。復旧工事には200万円の工事費がかかり、地元負担が大きいという事を聞いている。七開へ進出する企業には200万円の奨励金が市から給付されるが、地域には地域振興費などは何も予定されていない。水道は地区内の畜産施設や進出企業も利用されるので、鹿島市も地域振興

のために追加補助や新たな振興策について検討してもらいたい、どう考えているか。
答弁 災害関係の予算を使えないか、現在、国や県へ相談している。地域と企業と市が協定を結んでいるので、連携して地域振興ができるように対応していく。

議案第30号

令和3年度鹿島市一般会計補正予算(第3号)について



松尾 勝利 議員

■企業等農業参入支援事業について

質問 新規の事業である。企業等補助対象者の要件はどのような基準で決め

たのか。
答弁 地元地区にとっても、いい効果をもたらされるのが重要である。一番は耕作放棄地の解消・活用で、1ヘクタール以上の活用見込みであること。また、市内から2名以上を雇用するなどの要件を定めた。企業と鹿島市で進出協

定を結び、責任を持って事業に取り組んでもらう。今後も地元、関係の業者などの理解を得て対応していきたい。

議案第30号

令和3年度鹿島市一般会計補正予算(第3号)について



勝屋 弘貞 議員

■市民球場スコアボード改修工事の件について

(3月の新年度予算特別委員会の折、助成金の申請が不採択と判っていた

事を議会に報告せず、そのまま新年度予算を可決。今回の補正となった。) **質問** 欺かれたような思いが拭い去れない。全体的には減額だが、一般的には1000万円強の増額となる。二度とこのような事が無いよう確約を。
答弁 説明がどうだった

のかとすぐく反省をしている。市民への負託に込められるよう予算編成はしっかりと考えるよう部課長会で話をした。今後このような事が無いようにする。

議案第30号

令和3年度鹿島市一般会計補正予算(第3号)について



稲富 雅和 議員

■地域振興事業について
質問 今回いい取り組みをされた、西牟田地区。コミュニティ事業の防災器具の中身を聞きたい。

答弁 西牟田区自主防災会が自主防災組織育成助成事業を活用。防災資器材整備及び備蓄品を購入。投光器、訓練用消火器、発電機、リヤカー、折りたたみ式担架、消火用バケツなどを整備された。
質問 いい事業は、どの地区でも足並みを揃えて、整備して欲しいが、他の

地区でも申請しているのか。
答弁 他に2地区申請されている。

議案第30号

令和3年度鹿島市一般会計補正予算(第3号)について



中村 和典 議員

■農業分野への企業進出について

質問一 8月頃から七開地区で約18ヘクタールの農地を活用して、企業に

よる肉用牛の放牧事業が開始されるが、土地の所有権はどうなるのか。
答弁 地権者は約50名で、殆どが売却で、一部が賃貸借となる見込みである。
質問二 企業誘致によって、市にもたらす効果・メリットは。
答弁 遊休農地の解消、

多様な担い手の育成、雇用の創出等により、税収の確保が望める。また、健康志向を目標とした赤肉の生産、傾斜地を活かした土地利用のモデルとして嘉瀬浦での経験もあるので失敗する訳にはいかない

杉原 元博 議員

質問一 ICT環境整備後の現状と問題点は。

答弁 個別化した学習が可能になり、理科や体育、クラスの話し合いなどで活用。パソコン活用能力の向上とトラブルの解消などに、ICT支援員がサポートしている。

質問二 教員の資質・指導力向上について。

答弁 メンター制度を取り入れ、若手の仕事の悩みをサポートしつつ、中堅職員の自覚を促している。日常的に知識や技能を高めていく体制づくりが大切。

質問三 コロナ禍での児童・生徒の学習意欲や学力の変化について聞く。

答弁 学力調査の結果からは学力低下は見られない



これからの学校教育について

いが、今後も注意深く見守っていききたい。

質問四 これから暑くなる時期であり、熱中症指数計は各小中学校に配備されているのか。

答弁 全ての学校で体育館や教室・廊下などに設置して指数を確認し、給水の指導や屋外活動の制限などに役立てている。

質問五 35人学級の実現と意味を聞く。

答弁 きめ細かな学習指導の実現で、学力の向上やいじめ・不登校等の生徒指導上の課題の早期発見・対応が可能になると考えられる。

若者の孤独・孤立対策について

質問一 「子ども・若者育成支援推進大綱」で、具体策を盛り込んだ内容を聞く。

答弁 相談体制の充実、支援ネットワークの構築、アウトリーチの充実、生活困窮者の生活支援・就業支援、ひとり親支援などを進めていくことが明記されている。

質問二 自殺や引きこもりの対策について。

答弁 自殺対策は「鹿島市自殺対策計画」により5つの基本施策に沿って取り組んでいる。引きこもり対策は、大変な時間と労力を要するが、様々な関係機関と連携し支援を続ける。

質問三 ヤングケアラーへの支援について。

答弁 表面化しにくい問題であり、関係機関の認知度向上とともに実態調査は必要だと考える。関係機関と協議しながら進めていく。

質問四 社会教育の役割も重要である。担当課の考えを聞く。

答弁 社会教育事業に取り組む事が、社会からの疎外感や孤独感を感じずに日常生活を楽しんでいただける一助になればと考えている。

一般質問のYouTube動画配信!

下記のQRコードを読み取っていただければ、6月16日、17日、18日に行われた一般質問のYouTube動画を観ることができます。

[6月16日]



福井 正 議員
杉原 元博 議員
松尾 征子 議員

[6月17日]



池田 廣志 議員
徳村 博紀 議員
中村日出代 議員

[6月18日]



樋口 作二 議員
松田 義太 議員
伊東 茂 議員

新型コロナウイルスワクチン接種について



福井 正 議員

質問一 鹿島市でも昨年12月からこれまで41名の方が新型コロナウイルス感染症に罹患された。その対策は特効薬がない状況では、ワクチン接種しか対策がない。

答弁 ワクチン接種の計画と接種状況は。

質問二 ワクチン接種の予約をされた方が欠席されたらワクチンが余るが対処は。

答弁 接種スタッフや保育士や教職員などのリストを作り連絡してから接種する。

質問三 鹿島市の接種で副反応とアナフィラキシーの状況は。

答弁 痛みや発熱は発生しているがアナフィラキシーなどの重い症状は無い。

水害対策について

質問一 昨年7月豪雨で七浦、古枝、能古見に多大な被害が発生した。これから梅雨の時期に同じような豪雨に見舞われるかもしれない。水害対策について質問する。

答弁 中川・鹿島川・石木津川などの調査をした。鹿島川は5年前から佐賀県土木事務所に浚渫工事をしていたが、JRの鉄橋から御神松橋付近まで浚渫され濁泥が除去され、豪雨時の河川の状態が改善された。今回、中川・鹿島川の下流から河口にかけて、大量の濁泥堆積を確認した。

質問二 執行部として中川鹿島川下流域の濁泥堆

積を認識しているのか。

答弁 認識している。

質問三 堆積している濁泥の浚渫をするのか。

答弁 今年度から土木事務所が合流点から水管橋付近までを浚渫予定。来年度以降、本格的に浚渫予定である。

水害時の避難について

質問一 災害時の避難は避難所への避難と、自宅の2階への垂直避難等がある。避難所の状況は女性の着替え等プライバシーの確保が困難であった。また、子ども連れの女性は、女性のみの避難所を希望される方がおられる。これらにどう取り組むのか。

答弁 プライバシーの確保時はパーテーションを整備し避難所に配置している。女性用の避難所は現状ないが、考えねばならないことと思う。

田澤記念館の存続を



松尾 征子 議員

質問一 「青年団の父」と呼ばれ、青年教育と選挙粛正に生涯をかけた田澤義典を顕彰して設置された田澤記念館が閉館になつている。

答弁 鹿島市の宝として残さなくてはならない。



2018年に開催された「維新博」閉幕後、スカイロードに移設された田澤義典像。

頂ける関係者の皆様と、方法・手段について協議を進めているところ。

じように生理用品を備えること。

答弁 今も、保健室に常備している。トイレに置くことは、持っていないことを知られたくないというときは、一定の効果があると思う。常時学校にあるのが効果的であるのは間違いないので、今後どういった方法で対応するかについて学校とも相談しながら検討していきたい。

学校のトイレ個室に生理用品の設置を

質問一 コロナ禍のなかで、「生理の貧困」が社会問題化している。

答弁 失業・大幅減収で生活費に追われ、生理用品を買えない女性が増えている。その影響は子ども達を直撃している。

すべての児童・生徒が安心して学校生活を送れるように、トイレ個室にトイレットペーパーと同

意見 買えない、持っていない児童生徒が増えていくという。

すべて生理のある児童生徒のプライバシーや尊厳を保護するためにも、学校トイレ個室に生理用品を置くこと。

全国自治体の中ですでに取り組みが始まっているところもある。このことは世界的にも広がっている。国会でも取り上げられ国としてもその動きがある。

一般質問

災害に強く、みんなが住みやすく、暮らしやすいまちとは



池田 廣志議員

質問一 去年の7月豪雨で、祐徳稲荷神社横で濁流が溢れる状況を全国放送のテレビニュースで何回も放映されたが、その時の降水量の情報が流れず、テレビ局は「国が設置したアメダス基地の情報で放映している」とのこと。その基地は多良岳山系の佐賀・長崎両県に無く、ニュースを見た市民が「この雨なら避難しなれば」と思うためにもアメダス基地が必要。諫早市・大村市・太良町・鹿島市の4自治体で協議すべき。

次に、災害が予想されるときに、国が求める「ダムや溜池の事前放流」への取り組みは。質問二 国のアメダス基地は、雨量計を17km、風速計を21km間隔で設置し、新たに設置する計画はないとのこと。一人でも多くの方の避難を促すために佐賀気象台は、県が設置した奥山・中木庭ダム、飯田川、石木津川と新世紀センター5か所の雨量データでの災害情報を携帯電話で見られるようにしている。

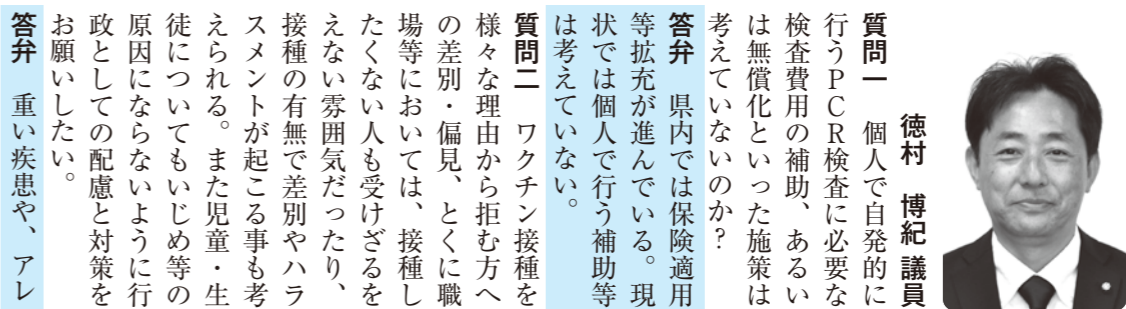
さらに、市内5河川に10機の河川カメラを設置し、河川水位を携帯電話、パソコン、ケーブルテレビで確認できるように取り組んでいる。また、ダムや溜池の事前放流については、今後関係者間で協議する。

質問二 国が指定する浜川・七浦地区河川の「水防法」の指定は。質問三 「木庭川」「石木津川」「浜川」上流部の防災施設と、山間部に

設置されている急傾斜地崩壊対策工事施工後の維持管理と、山間地で世帯数が減少している地域の振興策は。質問二 県が河床流失や法面崩壊防止工事を施工。急傾斜地崩壊防止工事は国からの補助金を受け、県が施工し、施工から数年が経ち、維持管理が不十分なものもあるため、県と協議し安全管理に努める。

中山間地の振興策は、今の制度に加え、何が効果的か検討する。質問四 今後の防犯カメラの設置計画は。質問二 子供たちの安全対策として、令和3・4年度とも7基を設置。

設置されている急傾斜地崩壊対策工事施工後の維持管理と、山間地で世帯数が減少している地域の振興策は。質問二 県が河床流失や法面崩壊防止工事を施工。急傾斜地崩壊防止工事は国からの補助金を受け、県が施工し、施工から数年が経ち、維持管理が不十分なものもあるため、県と協議し安全管理に努める。



徳村 博紀議員

質問一 個人で自発的に行うPCR検査に必要な検査費用の補助、あるいは無償化といった施策は考えていないのか？質問二 ワクチン接種の差別的な理由から拒む方への差別・偏見、とくに職場等においては、接種したくない人も受けざるをえない雰囲気だったり、接種の有無で差別やハラメントが起こる事も考えられる。また児童・生徒についてもいじめ等の原因にならないように行政としての配慮と対策をお願いしたい。

質問二 ワクチン接種の差別的な理由から拒む方への差別・偏見、とくに職場等においては、接種したくない人も受けざるをえない雰囲気だったり、接種の有無で差別やハラメントが起こる事も考えられる。また児童・生徒についてもいじめ等の原因にならないように行政としての配慮と対策をお願いしたい。

質問一 個人で自発的に行うPCR検査に必要な検査費用の補助、あるいは無償化といった施策は考えていないのか？質問二 ワクチン接種の差別的な理由から拒む方への差別・偏見、とくに職場等においては、接種したくない人も受けざるをえない雰囲気だったり、接種の有無で差別やハラメントが起こる事も考えられる。また児童・生徒についてもいじめ等の原因にならないように行政としての配慮と対策をお願いしたい。

質問一 個人で自発的に行うPCR検査に必要な検査費用の補助、あるいは無償化といった施策は考えていないのか？質問二 ワクチン接種の差別的な理由から拒む方への差別・偏見、とくに職場等においては、接種したくない人も受けざるをえない雰囲気だったり、接種の有無で差別やハラメントが起こる事も考えられる。また児童・生徒についてもいじめ等の原因にならないように行政としての配慮と対策をお願いしたい。

新型コロナウイルス感染症対策とワクチン接種について

ルギーなどで接種できない方、希望されない方もいる。接種の有無で差別が起きないように広報等を通じ周知していきたい。また児童生徒の接種については慎重に計画していきたいと思う。

質問三 ワクチン接種の際、細心の注意を払っていても防げないミスもある。こういった思わぬ事故が起こった場合の責任の所在は？

質問二 盗撮について状況分析と対策は？

質問一 最近、盗撮や後ろからつけられたり、登下校中の不審事案が相次いで発生している中で名札の取り外しは良い対策だと思ふ。一方で、万が一の事故・災害などに備えて不審者から名前が見えないように工夫したうえで個人が分かるように検討をお願いしたい。

質問二 盗撮について状況分析と対策は？

市税の徴収率について



中村 日出代議員

質問一 現在の市税徴収率の状況は。質問二 法律では滞納者に対し督促および滞納処分の規定がある。実施状況は。

質問二 採用された提案の中で評価が高かった提案を紹介されたい。

質問一 現在の市税徴収率の状況は。質問二 法律では滞納者に対し督促および滞納処分の規定がある。実施状況は。

肥前鹿島駅の周辺整備構想について

質問一 プロポーザル選考とは。

質問一 プロポーザル選考とは。

一般質問

いじめ、不登校について

質問一 現在のいじめ、不登校の現状は。質問二 いじめは全国的に増えている。令和元年度小学校47件、中学校16件、不登校は小中で30件程度であった。

質問二 いじめの解消は令和2年度で何件か。質問三 小学校は49件で34件解消した。

質問三 いじめで不登校となり転校した児童はいらぬのか。質問二 1名いる。転校先では休まずに通っており安心してはいる。

意見 我々家族もいじめの無い学校生活を送ってほしい。協力していただく。

有明海沿岸の水害対策について



樋口 作二議員

質問一 「〇mの津波」とは、どこからの高さか。質問二 海と陸地の境目、海岸線からの高さである。

質問二 海抜と潮位、平均海面との関係はどうなっているのか。質問三 海抜は、近海の平均海面とされており、鹿島市の場合には有明海の平均海面を0mとしている。潮位とは、標高の基準として東京湾平均海面を0mとして算出している。

質問三 想定される津波の高は、どうなっているのか。質問四 鹿島市に大きく影響のある地震のうち、佐賀平野北縁断層帯及び西葉断層地震による津波発生は考えられない。島原半島の雲仙地溝帯が連動

質問一 「〇mの津波」とは、どこからの高さか。質問二 海と陸地の境目、海岸線からの高さである。



母ヶ浦川水門ゴミ除去作業 (令和2年7月6日)

一般質問

鹿島市の地域課題について



松田 義太議員

新型コロナウイルス ワクチン接種について

質問一 現在の集団接種の体制についてお伺いす

答弁 集団接種の会場は鹿島市民体育館、約90名の接種が行われており、6月下旬より約180名の接種を予定している。

質問二 優先接種の考え方についてお伺いする。

三月議会において、子育て環境従事者への配慮をお願いしていたが。

答弁 高齢者接種後は、高齢者・障がい者施設、小・中学校職員、保育園・幼稚園・学童支援員・ごみ収集・し尿汲取り従事者を対象に優先接種を予定している。

コロナ禍の経済対策について

質問一 佐賀県が新型コロナウイルス感染症対策を徹底する飲食店への認定基準を策定した。ワクチン接種が終われば安心ではなく、今後も感染対策を取り組みながらの経済対策が求められるが、市の見解は。

答弁 商工会議所、料飲店組合等、連携して、国・県・市の様々な補助制度を活用し対策を講じていきたい。

質問二 コロナ禍において、観光産業への打撃が大きい。祐徳稲荷神社門前商店街、市内酒蔵等、また、観光バス、タクシーへのアフターコロナを見据えた取り組みについて。

答弁 来年度、九州新幹線西九州ルート暫定開業に伴い佐賀・長崎への様々なキャンペーンが企画検討されており、鹿島

市も誘致・提案に取り組んでいる。

アフターコロナの地域再生について

質問一 国では「デジタル庁」が9月に開設される。市のDX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みについてお伺いする。

答弁 業務の棚卸し、業務効率化等検討しており、今後、総務省の担当課からの研修等を予定している。



集団接種会場（鹿島市民体育館）

近年多発するゲリラ豪雨及び令和2年7月豪雨関連と市内漁場の海況変化について



伊東 茂議員

質問一 ゲリラ豪雨など短時間での降水量の多さから、河川の増水と共に上流から石や砂利などが頻繁に流れ、堤外水路を塞ぎ、農業用取水が出来なくなる事態が多発し、護岸が崩れ落ち農業施設に被害が出ている。

治水の観点から市内2級河川の護岸の強度を図る調査は行われているのか。

また、下流では砂が中洲を作り、草が生い茂り景観上も良くない。河川に隣接する集落の清掃作業にも限界があり、石の撤去や背の高い草木の伐採は困難な状況である。

今後の市内河川の浚渫計画を問う。

答弁 護岸の強度については平成25年河川法の改正により年1回以上の検査が義務付けられている。市内2級河川は県庁土木事務所が検査を行い破損箇所については修復を行う。重要水防区間の点検は年2回の点検を行っている。

また、本年度の市内河川の浚渫（河道掘削）計画は中川、鹿島川の合流部分の濁泥の掘削が行われる。同時に草木の伐採も行われる。

祐徳神社前から古場切橋までの区間は昨年度の追加補正予算で掘削を行った。

その他の河川については状況を確認し計画を立てる。

質問二 令和2年度の海苔養殖は年明け冷凍網からプランクトンの発生で色落ち被害により生産量、販売額も厳しい結果だった。

漁協鹿島市支所、浜町事業所で話を伺うとプランクトンを食べる二枚貝の不足が原因と考える。今年の赤貝は七浦の一部での収穫のみだった。赤貝は種付けして2年後に収穫となり、来年も取れないと伺った。

昨年豪雨の後、浜漁港では汐が引いた後、濁の中に流木や石などが埋まっているのを確認している。沖合まで流れ込んでいる。海底の地質の変化もあり海底耕耘の必要性を感じる。

質問三 沖合での海底耕耘は国庫事業を活用し10年単位で県が実施している。しかし、豪雨で赤貝が流失し、厳しい状況に県水産課も環境改善は必要と考えており、鹿島市としても強く要望を伝える。

議長に角田一美氏、副議長に松田義太氏

「議長・副議長の任期を2年とする。但し、再任は妨げない」との申し合わせにより、先の5月7日の市議会臨時会におきまして、議長・副議長の選挙を行いました。

議長就任あいさつ

議長 角田 一美

5月の臨時会で議長に再度ご推挙いただき、その使命の重さに身の引き締まる思いであります。現在、新型コロナウイルス感染症へのワクチン接種が市を挙げて進められているところであり、医療従事者の方々をはじめ、関係者の皆様のご尽力に敬意と感謝を申し上げます。議会としまして、一日も早い収束に向け精一杯支援してまいります。

また、本市政には、近年激甚化する風水害や少子高齢化・人口減少など、様々な課題が山積しております。これまでの先人達の知恵に学びながら、新たな創意と工夫ある取り組みにより、これからの課題克服に努めて参ります。そのため、コロナ禍においても二元代表制の一翼を担う議会として、不断の改革を実践して参りますとともに、市民の皆様の声に真摯に耳を傾けながら、積極的に政策立案や提言に取り組み、議会としての役割を果たしていきたいと考えております。

今後とも引き続き、議会に対する市民の皆様のご支援ご協力をいただきますようお願い申し上げます。



角田一美議長(右)と松田義太副議長(左)

副議長就任あいさつ

副議長 松田 義太

5月の市議会臨時会におきまして、議員各位から議長に再度ご推挙いただき、その責任の重さに身が引き締まる思いです。今後とも議長の補佐役として職務を遂行し、議会の公正かつ円滑な運営に努めてまいります。

現在、新型コロナウイルス感染症が全国的にまん延する中、鹿島市におきましても、市民の皆様様の日常生活や地域経済に甚大な影響が生じており、一日も早い収束に向けて力を注いでまいります。

市議会としましては、市民の思いを市政に反映していくという地方議会の原点を意識し、さらなる議会改革を推進します。議会報告会や市内各種団体との積極的な意見交換会等を開催し、皆さまにより身近に感じてもらえる、期待される鹿島市議会となるよう努力を重ねてまいります。

今後とも市民の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

【特別委員会】

公共交通対策特別委員会



委員長	福井 正
副委員長	樋口 作二
委員	中村日出代 池田 廣志
	中村 一堯 松尾 勝利
	松尾 征子

鹿島市が抱える道路、鉄道、バス、タクシーなど公共交通の在り方と問題解決に取り組めます。

まちづくり対策特別委員会



委員長	勝屋 弘貞
副委員長	杉原 元博
委員	中村 和典 稲富 雅和
	伊東 茂 徳村 博紀

様々な公共施設の再整備(市民会館、JR肥前鹿島駅周辺整備等)に関する諸問題の調査・研究を行います。

【常任委員会】

総務建設環境委員会委員



委員長	中村 和典
副委員長	中村 一堯
委員	中村日出代 杉原 元博
	勝屋 弘貞 松尾 勝利
	福井 正 角田 一美

市政一般、企画・防災、公共施設・道路施設、ごみ処理・公共下水道等に関する事務の調査及び議案、請願、陳情等の審査を行います。

文教厚生産業委員会委員



委員長	樋口 作二
副委員長	稲富 雅和
委員	池田 廣志 伊東 茂
	徳村 博紀 松尾 征子
	松田 義太

教育、福祉厚生、保険健康、産業、経済に関する事務の調査及び議案、請願、陳情等の審査を行います。

【議会運営委員会】

議会運営委員会委員



委員長	伊東 茂
副委員長	松尾 勝利
委員	樋口 作二 中村 和典
	中村 一堯 稲富 雅和

会期日程、議事日程等議会運営に関する事項及び議長の諮問事項等を審議します。

全国市議会議長会表彰

去る5月26日に東京都で開催予定であった第97回全国市議会議長会定期総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催となりましたが、議員10年以上表彰があり、鹿島市から、松田義太副議長、稲富雅和議員、勝屋弘貞議員、角田一美議長が表彰されました。

写真は左から勝屋弘貞議員、角田一美議長、松田義太副議長、稲富雅和議員。

(鹿島市議会本会議場にて)



議会あれこれ (令和3年4月～6月)

4月

- 5日 議会だより編集委員会
- 21日 議会運営委員会

5月

- 7日 5月臨時会 開会、
常任委員・議会運営委員の選任
- 10日 全員協議会
5月臨時会 議案の上程、議案審議、閉会
- 19日 議会運営委員会
- 24日 全員協議会
総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
- 25日 鹿島・藤津地区衛生施設組合臨時議会
- 28日 鹿島市水防・防災合同会議

6月

- 2日 議会運営委員会
- 4日 6月定例会 開会、議案の上程
- 10日 6月定例会 議案審議、質疑、討論、採決
- 11日 タブレット端末導入プロポーザル二次審査
- 16日 6月定例会 一般質問
- 17日 6月定例会 一般質問
- 18日 6月定例会 一般質問
- 23日 全員協議会
6月定例会 議案審議、質疑、討論、採決 閉会
公共交通対策特別委員協議会



令和3年度 かしま議会だより編集委員会

- 編集委員長 中村 一 亮
- 編集副委員長 松尾 勝利
- 編集委員 松尾 征子
- 顧問 松田 義太

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため行政視察受入は、ありませんでした。

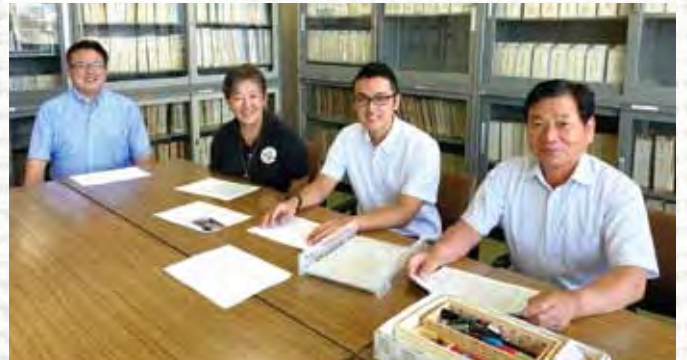
議長交際費を公表します。

金額単位：円

区 分	4月		5月		6月		合計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
弔 慰	0	0	0	0	0	0	0	0
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝 儀	1	3,000	0	0	0	0	1	3,000
会 費	0	0	0	0	0	0	0	0
接 遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	1	3,000	0	0	0	0	1	3,000

お詫びと訂正

令和3年5月に発行した議会だより第105号11ページ、勝屋弘貞議員の一般質問・質問一の2行目に「南川交差店」とあるのは、正しくは「南川交差点」でした。お詫びして訂正いたします。



今年度の編集委員(左から松田義太副議長、松尾征子議員、中村一亮議員、松尾勝利議員)

編集後記

議会だよりをいつも楽しみに読んでくださっている市民の皆さまありがとうございます。

今回の議会だより6月号より、私たちが編集委員を担当します。広く皆様に愛読していただけるよう、パソコンやスマートフォンからでも簡単に読めるように今回の第106号から鹿島市議会のQRコードを取り入れるなど工夫をいたしました。今後も議会や市政にまつわる写真をたくさん掲載し、多くの方へ市議会の活動がわかりやすく伝わるよう活動してまいります。

また、鹿島市の目標である「みんなが住みやすく、暮らしやすいまちづくり」の実現に向け議員一同頑張りますのでご支援よろしく申し上げます。

誌面にてお気づきの点や改善点がありましたら、どなたでもお気軽にご連絡ください。